

令和5年度 第2回

つくばみらい市地域包括支援センター運営協議会

議事録

つくばみらい市地域包括支援センター運営協議会

■日 時 令和6年3月27日（水）午後4時00分から5時00分

■場 所 つくばみらい市役所 伊奈庁舎3階大会議室

■出席者 【委員】

沼尻会長、山口副会長、小松崎委員、坂入委員、
菊地委員、八木岡委員、野村委員

【事務局】

保健福祉部 草間部長 介護福祉課 八木課長、野澤課長補佐、
山平主事、原田
市社会福祉協議会 浅川事務局長、伊藤課長
市地域包括支援センター 阿部センター長

■欠席者 なし

■傍聴者 0人

■次 第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 議題
 - (1) 令和5年度地域包括支援センターの事業評価を通じた機能評価結果について
 - (2) 令和6年度地域包括支援センター運営方針（案）および事業計画（案）について収支決算について
 - (3) 地域密着型サービス事業所について
 - (4) その他

議事録

1 開会（省略）

2 会長あいさつ（省略）

3（1）令和5年度地域包括支援センターの事業評価を通じた機能評価結果について

＜事務局より資料1に基づいて説明＞

- 会長 ・ ご意見、ご質問はありますか。
- 会長 ・ 全国市町村と比較すると良くなっているが、頑張っているという理解でよいのか。
- 事務局 ・ 昨年度の評価を受けて、改善できることは改善に取り組んでいます。機能評価結果をこの場で公表させていただくことで委員の皆様から様々な意見をいただけることも改善につながっています。
- 委員 ・ 介護予防ケアマネジメントの項目をどのように改善しているか教えてほしい。
- 事務局 ・ 要支援認定者のケアプランを作成する際、例えばフレイルの状態の方や骨折により認定を受けた方に対しては、支援を行うことで状態の改善が見込めるという意識をもってケアマネジメントできるよう、理学療法士や作業療法士、薬剤師等と連携した地域ケア会議や同行訪問等を行っています。このような対象者の自立支援に向けた取り組みが評価につながったと考えております。
- 委員 ・ 包括的支援事業については、逆に評価が下がっているが、どのような理由になるのか。
- 事務局 ・ 詳細な事項については、本日資料を持ち合わせていないため、お答えができません。
- 委員 ・ 次年度に改善できるよう、頑張ってください。
- 会長 ・ その他ご質問、ご意見がないようであれば、議題第1号を承認し、関係書類を受理します。

(2) 令和6年度地域包括支援センター運営方針(案)および事業計画(案)について

<事務局より資料2-①、②に基づいて説明>

- 会長 ・ ご意見、ご質問はありますか。
- 委員 ・ 令和6年度重点取り組みとして独居高齢者の実態把握は、どのように実施するか。
- 事務局 ・ 65歳以上の方を想定していたが、人数が多数いるため、人数等を考慮しこれから対象者の年齢を検討していきます。
- 委員 ・ 高齢者虐待への対応について、経済的虐待が増えているのか。
- 事務局 ・ 相談件数でいうと、やはり身体的虐待で相談が入ることが多いが、様々な要因が複雑に絡んでいるケースが多いと感じています。
- 委員 ・ 独居高齢者の実態把握について、訪問対象の方にどのように周知していくのか。
- 事務局 ・ 訪問を実施する前に市の広報紙において訪問を行う職員の顔写真付きの記事を掲載したいと考えています。
- 委員 ・ 民生委員さんはどのように訪問活動をしているのか。受け入れはいいかがか。
- 委員 ・ 長年同じ民生委員が活動している地区は受け入れが良いが、民生委員が変更になったり、また、認知症の方はなかなか受け入れが難しいと考えている。
- 委員 ・ 独居高齢者の実態把握については、令和6年度実施できる方向で話が進んでいるのか。
- 事務局 ・ 主に訪問活動を行っていただくブランチ職員及びブランチを委託している特別養護老人ホーム施設長へは事業の説明を行い、了承をもらっています。訪問活動の目的や実施方法を共有し効果的な訪問ができるよう調整していきます。
- 委員 ・ 突然訪問してもこのご時世受け入れてくれる方は少ないと思う。せ

つかく訪問するのであれば、事前に連絡を入れてから訪問したり、介護予防事業に参加している方であれば、その場で聞き取りを行うなど、受け入れてもらえる方法で実施していただきたい。

- 事務局 ・ 検討してきます。
- 委員 ・ 高齢者虐待予防の啓発とあるが、どのような啓発活動を行っていくのか。
- 事務局 ・ これまでの支援の中で、家族や介護職員が虐待を行っているという認識がないまま虐待されている高齢者が見受けられました。虐待かなという気づきがなければ、支援につながることは難しいと実感しており、令和6年度は、改めてこのような行為は虐待行為に当たります、という周知を市民はじめ介護職員等へも行っていきたいと考えています。
- 委員 ・ 介護予防・日常生活支援総合事業について、対象者の望む生活を実現するための体制を介護福祉課と協議していくとあるが、どのように協議していくのか、横の連携を強化するということか。
- 事務局 ・ 介護予防・日常生活支援総合事業は、多様な主体による様々な介護予防のための取組みを推進していくことが求められていることから、行政としてその主体となりえる介護福祉課、地域包括支援センターおよび生活支援コーディネーターとの連携を強化するため様々なテーマにそったディスカッションの機会を設ける予定としています。
- 会長 ・ その他ご質問、ご意見がないようであれば、議題第2号を承認し、関係書類を受理します。

(3) 地域密着型サービス事業所について

<事務局より資料3に基づいて説明>

- 会長 ・ ご意見、ご質問はありますか。
- 会長 ・ その他ご質問、ご意見がないようであれば、議題第3号を承認し、関係書類を受理します。

(4) その他について

<事務局より資料4に基づいて説明>

- 会長 ・ ご意見、ご質問はありますか。
- 委員 ・ 令和6年度に実施する事業については、事業所としてもありがたいと思っている。物価が高騰しており、食糧費や光熱費も値上がりしている。大変ありがたい。また、介護支援専門員に対する助成制度についても、これだけで介護人材が充足することはないが、市として考えていただけることはありがたいと考えている。
- 委員 ・ 地域包括支援センターの業務で民生委員との連携や情報交換をしていただけるといいのかなと思う。民生委員も地域の情報をたくさん持っている。ぜひご相談いただけたらと思う。
- 事務局 ・ ご相談、連携をさせていただきます。
- 委員 ・ 高齢者のゴミ出しの問題も多く上がってきていると感じている。市では要介護2以上の方のゴミ出し支援事業を行っているが困っている方はもっと多くいらっしゃると思う。
- 事務局 ・ ゴミ出しについてはこれまでも課題として挙がっています。地域課題について検討する地域ケア会議において生活環境課の職員に出席していただき、高齢者がゴミ出しについて困っている現状を知ってもらい、課題を認識していただいております。一方で、このような日常生活での困りごとは、地域住民同士の助け合いで解決できないか、という声も聞かれます。社会福祉協議会のボランティアセンターとも課題を共有し、解決できるよう考えていきたいと思えます。
- 委員 ・ 介護支援専門員の不足は深刻な状況で、もっともっと助成を行っていただき、介護支援専門員が長く働いていただけるよう支援していただきたい。
- 事務局 ・ まずは、介護支援専門員の資格を持っている方の掘り起こしを目的に予算措置をさせていただきました。今後効果検証も行いながらどのような支援ができるか考えていきたいと思えます。

4 閉会